

2019年9月22日（日）

主 題：「クリエイティブな人生を送る秘訣」

—イエスのことばを思い出す人—

テキスト：マルコの福音書14章66～72節

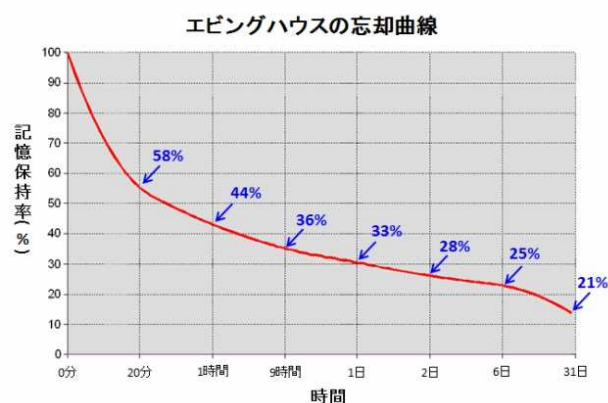
はじめに

- ・今日、私は「クリエイティブな人生を送る秘訣」と題して、メッセージをさせていただきます。クリエイティブという言葉は、ある方には聞き慣れないかも知れません。短く言えば、「創造的」、「独創的」という積極的内容を指します。モノを新しく生み出すこと。夢を描き創造性を高めること。

これらは ⇒クリエイティブなことです

- ・ところで、私たち人間は、忘れやすいものですね。少し前に起こったことも、忘れてしまうことがあります。皆さんは、そんな苦勞をしたことはありませんか。一時、国会である政治家が「記憶にございません！」と言う返答をして、問題になったことがありました。政治家の言葉としては軽いと言われました。
- ・私たちは日常生活で、物忘れが多くなると支障が出てまいります。確かに、しっかり「記憶すること」、そして「忘れないこと」は大切なことです。しかし、すべてを記憶することはできませんから、「大切なことは記憶すること」、「大切なでないことは忘れること」、というのが理想的です。

- 1) ドイツの心理学者 Ebbinghaus は、に関する「忘却曲線」を発表し、それによれば、「人間の記憶は指数的に減少する」というものです。
図参照)

記憶
した。
関数
(右

- ・Ebbinghaus の実験によれば、記憶は分後におよそ42%を忘れ、1時間およそ56%、9時間後におよそ66%を忘れ、その後少しゆるやかになり、後にはおよそ75%を忘れてしまいます。完璧に覚えてつもりでも、その後復習をしなければ6日後には25%しか残っていないということになります。ですから大切なことは、忘れる前に繰り返し反復することであるそうです。それでも、75%は忘れてしまいます。人間は、それほど忘れやすいものであるということです。
- ・では、忘れやすい人間が、どうすれば忘れないで脳を活性化させられるでしょうか。時代は今、クリエイティブな人、創造性のある人材を求めています。ビジネス、研究、家

20
後で
4%
6日

庭、学校・・・・・・で。

どうすれば、クリエイティブ（創造的）な人になれるでしょうか。

2) 脳科学者である茂木健一郎氏は、次のように語っています。

忘れやすい人間を活性化させる方法として、脳を活性化させるには2つの重要点があると言います。

① 継続すること

同じことを繰り返す、何度も復習し習慣化することです。そしてマンネリではなく、そこにサプライズが加わる必要があると言います。

② 思い出すこと

創造とは思い出すことから始まります。人は過去の材料をもとに新しいものを作り出すのです。

* どうも、この2点が鍵であるようです。じつは聖書にも、この大切なレッスンを記録されています。

大切なポイント

1. 聖書にある大切なことを忘れた人

- ・今から約2000年前、イスラエルの地にイエス・キリストという方がおられました。イエスは多数の人々に向かい説教し、病を癒し、奇跡を行い、不思議なわざを行われました。群衆はイスラエル国の指導者よりも、田舎のガリラヤ地方出身者のイエスの方へ流れていきました。
- ・時のイスラエル指導者たちは、その現象をよく思いませんでした。当時支配していたローマ帝国もよく思いませんでした。そして、イエスに対する反抗心は次第にエスカレートし、憎悪心（憎しみ）に変わり、イエスを捕えて殺害しようとなりました。
- ・そして、イエスは捕えられ大祭司（イスラエル社会の最高権威者）の庭に連れて行かれました。

聖書はこのように記録しています。 **マルコ 14 章**

14:65 そして、ある者たちはイエスに唾をかけ、顔に目隠しをして拳で殴り、「当ててみる」と言い始めた。また、下役たちはイエスを平手で打った。

その光景をイエスの弟子であったペテロという人がいました。彼は、きっと物陰に隠れて、自分の主人であるお方を見ていたでしょう。その時の彼の様子が次のように書かれています。 **マルコ福音書**

14:66 ペテロが下の中庭にいと、大祭司の召使いの女の一人がやって来た。

14:67 ペテロが火に当たっているのを見かけると、彼をじっと見つめて言った。「あなたも、ナザレ人イエスと一緒にいましたね。」

14:68 ペテロはそれを否定して、「何を言っているのか分からない。理解できない」と言って、前庭の方に出て行った。すると鶏が鳴いた。

14:69 召使いの女はペテロを見て、そばに立っていた人たちに再び言い始めた。「この

人はあの人たちの仲間です。」

14:70 すると、ペテロは再び否定した。しばらくすると、そばに立っていた人たちが、またペテロに言った。「確かに、あなたはあの人たちの仲間だ。ガリラヤ人だから。」

14:71 するとペテロは、?ならのろわれてもよいと誓い始め、「私は、あなたがたが話しているその人を知らない」と言った。

14:72 するとすぐに、鶏がもう一度鳴いた。ペテロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と、イエスが自分に話されたことを思い出した。そして彼は泣き崩れた。

- ・ 7 2 節に、「それに思い当たった時、彼は泣きだした。」とあります。

彼は、イエスが言われた「ことば」を思い出しました。「**鶏が二度鳴く前に、あなたは、わたしを知らないと言います。**」、とイエスが言われた「ことば」を思い出しました。彼は確かに聞いていました。しかし、主が言われた大切な「ことば」を忘れていました。

- ・ 皆さん。これはペテロだけの問題ではありません。いいえ、私も大切な「言葉」を忘れることはあります。これが人間の弱さのひとつです。しかし、神はその弱い人間（一人一人）を愛してくださっています。弱さの中で、倒れてしまわないように、神は目を止めてくださっています。
- ・ では、どうすれば良いのでしょうか。クリエイティブ（創造的）に、積極的に生きるにはどうしたら良いのでしょうか。先ほどの茂木健一郎氏の言葉が参考になります。

2. クリエイティブな人は継続する人

- ・ ひとつのことを極めた人は、ひとつのことを継続した人です。それは目標に向かい続ける人のことです。

『例 話』

① 3千本安打を記録した「イチロウ選手」

- ・ MLB(Major League Baseball) : 米国 2 9 球団所属), シーズン最多安打記録保持者 (262 安打) であり、プロ野球における通算安打世界記録保持者 (通算 4257 安打でギネス世界記録に認定)、最多試合出場記録保持者 (通算 3604 試合出場) である。



② 登山家、三浦雄一郎氏

- ・ 誰もが知る登山家です。彼は 6 5 歳の時、札幌の「**山**」 (高さ 5 3 1 m で、北海道自然 100 選に選ばれた山) に登りました。しかし、この山の 3 分の 2 ま



「もいわれた美しいで登ったと

ころでダウン。当時、彼はメタボ（身長163cm、体重80kg）であったそうです。それから、15～20キロのリュックサックを背負いトレーニング開始しました。身体を鍛えました。

そして、なんと：

- ・ 2003年、70歳でエベレスト登頂成功
 - 2008年、75歳でエベレスト再登頂
 - 2013年、80歳で3度目のエベレストに再登頂に成功
- 三浦氏は輝かしい記録を残しました。

*この二人の共通点は何でしょうか？

⇒ 目標に向かい続けること

- ・ 聖書では、神がおられる天国（目標）に向かい、人生を歩き、願い求める人を「祈りの人」とも呼びます。祈りは動作の継続です。

⇒ 習慣化させる ⇒ 活性化させる。

ですから、祈り続ける人は神への感謝、神への賛美、悔い改め、願望、とりなしへと続いてきます。

1テサロニケ5章 5:17 絶えず祈りなさい。

そのようにして、神に向かい続ける人は、クリエイティブな人になります。クリエイティブになる、もう一つの道はどこにあるのでしょうか。

3. クリエイティブな人は思い出す人です

1) 人は過去の材料で新しいものを作り出す

- ・ ここでペテロの裏切りをみてみましょう。マルコ14章
14:72 するとすぐに、鶏がもう一度鳴いた。ペテロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と、イエスが自分に話されたことを思い出した。そして彼は泣き崩れた。

ここで教えられることは、 = 経 験 X 意 志 (will)

2) 聖書を読むこと

- ・ イエスが行なった奇跡を、わざを思い出すことは大切です。イエスはどんな「ことば」を語り、どんな行いをされたか……。
- 困った人々を助けたイエスが、なぜ捕えられたのだろうか。そして、なぜ十字架刑に処せられたのだろうか。さらにイエスのお体は、墓に葬られました。しかし、聖書が語っていたように、三日目に墓からよみがえられました。イエスは、なぜ復活されたのだろうか……。
- ・ 皆さん。聖書を読むことは、どうして「クリエイティブ」（創造性）を高めることにつながるのでしょうか。それは、創造神が書かれた書物であるからです。聖書によって、どれだけ多くの人々が知恵、励まし、力、慰めを得たことでしょうか。聖書は

永遠のベストセラーです。

- 皆さん。聖書は、イエス・キリストの十字架と復活が中心であります。

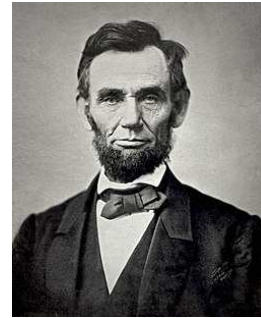
⇒ それを思い出すことです。

それが創造性（クリエイティブ性）をアップさせることになるのです。

聖書はじつに不思議な書で、あなたを創造的にし、あなたを生かすものです。

[例 話] 「サプライズ・プレゼント」

- 米国第16代アブラハム・リンカーン大統領は、米国も人気が高い大統領です。リンカーン大統領には多くコードが残っていますが、その一つをシェアさせていただきます。
- ある時、大統領任期中（1861～1865年）、ホワイトハウスには、小中学生が通う学校がありました。その学校のは、主に暮らし向きの良い、高位公職者の子どもたち。リンカーンは時々、ホワイトハウスの窓際に立ち、子どもたちが運動場で走り回っている姿を眺めて、楽しんでいました。
- ある日、窓の隙間から、子どもたちのざわめき声が聞こえてきました。リンカーンがそっと窓の外を見ると、一人の子どもが何人かに子どもに囲まれて泣いていました。「毎日汚れた服を着て、靴も汚いのを履いて来る、ビン貧乏人だ！」
- 先生は、子どもたちはきれいな服装をし、靴は磨いてつやを出しないと指示していましたが、貧しい少年の靴はとても古いものでした。少年の父親は南北戦争に従軍して命を失いました、母親は他人の家の掃除を手伝い、細々と生活をしていました。
- そのような身の上を知ったリンカーンは、心がとても痛みました。そこで、この少年にサプライズ・プレゼントをしようと決めました。明くる日、少年の家に贈り物が一箱届きました。中には家族に必要な食料品などがたくさん入っており、少年のための新しい服と新しい靴がきれいに包装されていました。
- 次の日、少年がピカピカの靴と、新しい服を着て学校に行くと、子どもたちは目を丸くして不思議そうに少年を見ていました。さらに驚いたことは、リンカーン大統領が教室に現れたのでした。そして黒板に大きな字でこのように書きました。
「最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」



でもっとのエピソードの隣生徒たちでした。子どもたちが

(マタイ 25:40)

- リンカーンは聖書の一節を思い出し、子どもたちに伝えました。このことがあってから、すでに約150年が経過しました。今も語り注がれている美しいエピソードです。敬虔なクリスチャンの母親によって育てられたアブラハム・リンカーンは、聖書のことばが心に刻まれていました。彼はきっと、この聖句を思い出しました。なんと美しい話ではありませんか。

- 皆さん。ペテロはイエスの「おことば」を思い出したとき、男泣きしました。

しかし ⇒ そこが彼の原点（スタート）でした。

彼は自分の弱さ、情けなさ、なんとみじめな者であるかが分かりました。

しかし、この原点があったからこそ、彼の後の生涯は大きく変えられました。

- ペテロはその後、神に用いられた伝道者となりました。一度に数千人もの人々を、回心

へ導く神の器と変えられました。そればかりか、彼は初代教会時代の中心人物の一人となりました。

- ・ペテロは、イエスが言われた大切な「ことば」を忘れていました。そればかりではありません。彼は主人であるイエスに背を向けていました。しかし、彼がイエスの「ことば」を思い出したとき、彼の人生は本当の意味で始まりました。
- ・いかがでしょうか。私たちの人生、いろいろなことがあります。しかし、私たちは大切なことを聞いているのでしょうか？大切なことを覚えているのでしょうか？ 自問自答してみようではありませんか。

ま と め

主 題：「クリエイティブな人生を送る秘訣」

—イエスのことばを思い出す人—

- ・今日、私たちは大切なことを聞きました。忘れやすく、大切なことをなかなか思い出せないものです。しかし、イエスの愛弟子ペテロもそのような人でした。しかし彼は変えられ尊い器となりました。後日、初代教会の中心人物の一人になるほどに変えられました。彼の出発点は、イエスの「ことば」を思い出した時でした。
- ・クリエイティブ（創造性）に富む人になるには、何が大切でしょうか。
 1. クリエイティブな人は継続する人
 2. クリエイティブな人は思い出す人
 いかがでしょうか？ あなたは何を思い出されるでしょうか。

* God bless you!